

松平雄一郎

まつだいら ゆういちろう

活動レポート
2024年 春号

ともに区民と。

会派

自由民主党文京区議会

所属

総務区民委員会
自治制度調査特別委員会
決算審査特別委員会

区政レポートを手にとって頂き、ありがとうございます。

新型コロナはようやく落ち着きましたが、震災への不安や、物価高騰による生活への厳しい状況は続いています。皆さまの日々の生活の課題に寄り添い、より良い文京区を創れるよう、これからも精一杯働いて参ります。

何かお困り事がございましたら、お気軽にご連絡下さい。松平雄一郎

- プロフィール
- 昭和 54 年 7 月東京生まれ、文京区水道在住
 - 家族は妻と娘 2 人(13 歳と 9 歳)、ハムスター 1 匹
 - 都立新宿高校 卒業、成蹊大学経済学部 卒業 ● 趣味は音楽と日本の歴史
 - 音楽レコード会社、環境コンサル会社勤務を経て、衆議院議員辻清人秘書を5年間勤める
 - 平成 31 年 文京区議会議員に初当選(現在 2 期目)

1 当初予算としては過去最大!

令和6年度文京区予算が成立しました。

文京区の財政状況は、人口の増加に伴い、特別区税の収入は増えていますが、**ふるさと納税等による税流出は拡大傾向**にあり、今後の老朽化した公共施設の整備や、さらに増加する高齢者への施策を考えると、**区財政は決して楽観はできない状況**です。しかし、コロナがようやく収束し、子どもから高齢者まで**すべての世代を支える施策を積極的に展開**するために、基金や区債を活用しながら、当初予算としては**過去最大となる予算が編成**されました。予算委員会での審議を経て、3月21日の本会議にて、私も賛成票を投じ、可決成立いたしました。



路上でタバコは禁止のはずなのに、よく見かける…

2 望まない受動喫煙をゼロに。分煙対策を進めています。

区内全域の屋外の公共の場所での喫煙は禁止となりましたが、いまだ路上や駐車場などで隠れた喫煙者を見かけます。喫煙マナー向上の啓発を行うと同時に、**子どもや妊婦など望まない受動喫煙を無くすため、決められた場所で喫煙してもらうための喫煙所の整備も大事**です。民間への喫煙所設置助成を拡充するなどして、分煙環境をさらに整備していき、吸う人と吸わない人が共存できるまちづくりを目指しています。



R5年度

新しく2か所の整備が進みました

- ①後楽 2-22-2
- ②東京ドームシティジオポリス内

3 地震が発生したら避難所に行った方がいい?

在宅避難に備えた訓練を支援します!

能登半島地震の教訓から、現在様々な災害対策の支援強化を行っています。発災時、耐震化された自宅やマンションにお住まいの方へは、収容人数に限りがある避難所への避難ではなく、**「在宅避難」を推奨**しています。令和6年度から町会やマンションの組合等の防災訓練に、専門的な知識を持った防災アドバイザーを派遣できる事業に、**在宅避難の訓練メニューが新たに加わります**。具体的で実践的な訓練を通じて、リアルな在宅避難の体験や注意点を学ぶ事ができます。是非ご活用ください。

- ①在宅避難リーフレット
 - ②携帯トイレ(お一人5個)
- 参加者に配布します!



防災用品
あっせん事業も
行っています!



4 保育園の次は、育成室の待機児童?

育成室の待機児童解消に向け、整備を進めています。

子育て世帯が増加している中、文京区では保育園の待機児童ゼロを達成しましたが、近年、**学校の教室不足や育成室(学童保育)の不足が課題**となっています。育成室の待機児童を早急に解消するため、新しく小規模の賃貸物件を活用した整備方針を打ち出し、令和6年度から**合計11か所開設する事が決定**しました。



令和 6 年 4 月より開設

- 育成室 10 か所
- 都型学童クラブ 1 か所

合計 400 名分の定員増!

日々の活動のご報告



節分祭



4年ぶりの神輿渡御



能登半島被災者への募金活動



神田川の氾濫に備えた水防訓練



大学生との国会見学



地域のもちつき大会



春と秋の交通安全運動



夏休みのラジオ体操



二期目の当選



夏祭りのスタッフとして

議会で質問しました!

※令和5年度定例議会一般質問から抜粋

QRコードから全文を読めます!



質問 1

未来に向けた計画的な財政運営を

文京区の人口は増加しているが、近年ふるさと納税等の影響による税流出は拡大傾向にある。今後、福祉の充実や災害への備えなど課題は多くあり、将来を見据えた財源確保は重要。



国の税制改正による影響は今後も増加していき、本区への影響は、決して看過できるものではない。今後も将来の財政負担を考慮しながら、これまで以上に計画的に各施策を推進していく。



質問 2

財政の備えである「基金」について

景気後退により大きく歳入に影響が出たとしても、福祉・子育て・教育のサービスの低下があってはならない。減収や緊急的な財政支出には、基金の取崩しや、特別区債の発行等を行う必要があり、適切な基金運営は重要。



これまでの財政状況を分析するとともに、基金残高や特別区債のあり方について検討し、健全で持続可能な財政運営の取り組みを更に推進していく。



質問 3

急な閉園を避けるため、保育園への経営支援を

待機児童ゼロを達成したが、近年空き定員が目立ち、私立認可保育所の経営悪化が懸念される。これまで保育士の人件費補助や設備更新費用の助成を行ってきたが、さらなる支援策は?



今後、運営が困難になる保育所が出る可能性はあり、指導検査において財務状況の確認を行っている。万が一に備えた支援についても、他自治体の状況、国や都の補助制度等を情報収集し研究していく。



質問 4

未就学児の定期的な預かり事業の拡充を

親が就労していなくても生後4か月～2歳までの子どもを預けることができる、国の「こども誰でも通園制度」のモデル事業がスタート。この事業のさらなる展開に期待したい。



R5年度モデル実施した2園においては、多くの家庭から利用希望があった。一定の効果はあるものと認識しており、拡充していきたいと考えている。



★令和6年度は12か所(予定)に拡充決定!(私立認可保育園・私立幼稚園)

質問 5

さらなる不登校対策について

教室に行きづらさを感じる児童が増える中、R5年度スタートした指導員による、教室以外の別室への登校を支援する事業の成果に期待している。モデル校からの課題を確実に検証し、早急に全校実施に向けた拡充を。



児童の心情に寄り添った指導員の配置により、登校日数が増えたほか、学校行事や授業に一部参加できるようになった等の効果が見られるため、拡大について検討していく。

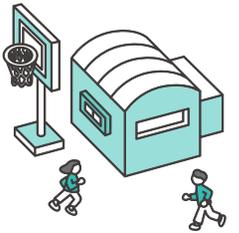


★令和6年度は12校に拡充予定!(R5年度 7校→10校、R6年度 12校)

質問 6

中学校の部活動地域移行の研究を

教職員の負担軽減を目的とした、公立中学校の部活動の地域・民間団体への移行について国がガイドラインを策定。学校によって状況は様々なため、部活ごとの調査など課題整理が必要ではないか?



R7年度までの国の改革推進期間の中で、学校や部活動ごとの実態調査やアンケートを実施し、地域移行のモデル事業を実施していく。



質問 7

学校施設の予約システムについて

R4に新しく学校施設のネット予約申込が始まったが、R6年度に優先団体登録の更新を行うタイミングで、利用方法について一定の整理が必要ではないか?



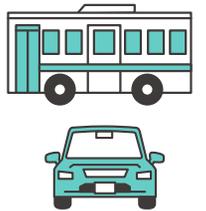
全校統一システムを導入し、公平性の確保と学校負担を一定程度軽減できた。優先団体以外の団体が、十分に施設利用できないという声もあり、調査を行った上で改善に向け検討を進めていく。



質問 8

残された公共交通不便地域の解消を

コミュニティバス「Bーぐる」が3ルート運行となり、残された交通不便地域は大塚・千石・白山地域となった。高齢者が移動しやすい環境を整えるため、AIオンデマンド交通等あらゆる手段の検証を。



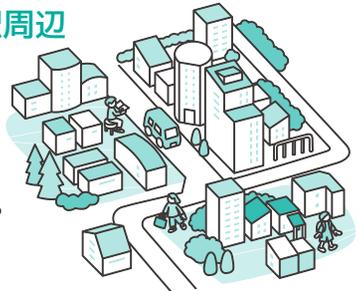
残された地域は道幅が狭く、都営バスと重複する区間も多い。今後、多様な公共交通システム導入について調査を行い、事業の採算性や継続性も視野に入れ、可能性を検討していく。



質問 9

後楽二丁目地区と飯田橋駅周辺の整備状況について

老朽化した歩道橋の再整備と合わせた、後楽二丁目南地区一帯の再開発事業の検討が進んでいる。今後どのように、都や関係機関と協議を進めていくのか?



再開発準備組合が環境影響評価を開始する予定であり、区も都市計画決定に向け、準備組合や都と協議を進めている。今後、都市計画法に基づく手続き等を前に進めていく。



高さ 約170m (地上35階 地下3階)

延床面積 約30万平米

用途 住宅・事務所・店舗等

住居戸数 約250戸

着工 令和8年度

完成 令和13年度



お困りごと、区に関するご意見などございましたら是非、お気軽にご連絡ください!

いいね&フォローお願いします!



松平雄一郎公式サイト ymatsudaira.com

